

HPV 検査

オプションにて実施可能!!

婦人科検診受診者の方は、オプション検査として **HPV 検査** の実施が可能です。子宮頸がん早期発見のため **HPV 検査** の受診をお勧めします。

子宮頸がんの原因は HPV (ヒトパピローマウイルス) によるものと解明されていますが、このウイルスはごくありふれたもので、100 種類以上のタイプ (型) があります。そのうち子宮頸がんの発生に関わるタイプは『高リスク型 HPV』とよばれ、性交渉の経験がある女性であればほとんどの女性が一生に一度は感染するといわれています。しかし、このウイルスに感染しても多くの場合は、その人の免疫力によってウイルスは体内から消えますが、感染した人の中のおよそ 10% の女性がウイルスを排除できずに感染が長期化 (持続感染) してしまふことがあります。これにより子宮頸部の細胞に異常 (異形成) を引き起こし、長い年月を経て子宮頸がんへと進行する場合があります。現在、子宮頸がんは、30~40 代の若い世代で発症する人が増加しています。しかし子宮頸がんは、その原因やがんになる過程がほぼ解明されているため、「**予防できるがん**」です。それを理解され個々でのがん対策の一つとして、高リスク型 HPV の感染有無を調べる “**HPV 検査**” の受診をお勧めします。



子宮頸がんとは？

子宮がんには、子宮の入り口付近にできる「子宮頸がん」と子宮の奥にできる「子宮体がん (子宮内膜がん)」の 2 種類があります。

子宮がんの概要	子宮頸がん	子宮体がん
自覚症状	無症状	不正出血 褐色おりもの
原因	HPV 感染	女性ホルモン異常
発症しやすい年齢	30~40 歳代 20 歳代急増	50 歳代
発見のタイミング	定期的な検診	不正出血 褐色帯体

子宮頸がんを予防する方法

1. ワクチン接種 (当センターでは実施していません)

世界保健機構 (WHO) が接種を推奨し、多くの先進国では公的接種とされていますが、現在、厚労省は接種による副作用 (副反応) がおこるリスクを考慮し積極的にはお勧めしていません。ワクチン接種の効果は、子宮頸がんの 60~70% を占める発がん性 PV16・18 型の感染防止となります。

2. 定期検査

“婦人科医師による視診” と “子宮頸部の細胞を顕微鏡的に観察する細胞診” による定期検査。これに更なる精度向上を図るために “**HPV 検査**” のオプションを実施されることをお勧めいたします。



HPV 検査の申し込み方法

- オプション検査の申し込み方法
 - ・下記電話番号にて追加申し込み下さい。
 - ・検診当日の受付時でも申し込みは可能です。

- オプション検査料金
 - ・婦人科検診とは別に 5,000 円 (税別)

- **ご注意!!**
 - ・単独での検査は実施しておりません。HPV 検査は、婦人科検診時に細胞診と同時に検体を採取します。よって婦人科検診を受診される方のオプションとして追加できます。

豊田地域医療センター

健診事業課までご連絡下さい。

☎ (0565) 34-3003

